



空飛ぶクルマも見据えた 新たな救急搬送体制づくり



救急搬送時情報共有システム「QaaSシステム」運用図

延岡市では令和5年3月より、救急車と搬送先医療機関との間で、傷病者の情報を共有するシステム「QaaSシステム」の運用を開始し、搬送時間の短縮や医療措置の迅速化を図り、「一人でも多くの命を救う」医療サービスを目指しています。

また、新たな移動手段として期待されている「空飛ぶクルマ」を活用し、医師の搬送や救援物資の運搬などを実現することで、医療・防災における対応力の更なる強化を図るなど、新たな社会システムの構築を目指しています。

